

第1回第5次豊川市障害者福祉基本計画及び第8期豊川市障害福祉支援計画等 策定委員会 議事録

令和8年6月25日（木）

午後1時30分から午後3時まで

豊川市役所 本庁舎3階 本34会議室

出席者

（出席者）17名

高橋委員、山本委員、都築委員、細井委員、中村委員、古川委員、鈴木委員、
野村委員、柘植委員、川口委員、成瀬委員（榊原委員代理）、鳥居委員、丸山委員、
森本委員、稲森委員、園田委員、木村委員

（欠席者）2名

加藤委員、清水委員

次第

- 1 福祉部長あいさつ
- 2 第5次豊川市障害者福祉基本計画及び第8期豊川市障害福祉支援計画等策定委員会設置要綱について
＜事務局から資料①に基づき説明＞
- 3 策定委員自己紹介
- 4 委員長及び副委員長の選出について
＜推薦により、委員長に川口委員が、副委員長に中村委員がそれぞれ選任＞
- 5 議題
(1)第5次豊川市障害者福祉基本計画及び第8期豊川市障害福祉支援計画等について
＜事務局から資料②～④に基づき説明＞

川口委員長：ただいま、第5次豊川市障害者福祉基本計画及び第8期豊川市障害福祉支援計画について事務局から説明がありました。

特に資料③の4ページ以降、「計画の構成案について」、「計画の基本的な考え方について」は大切な要件かと思います。ただいまの説明について、ご質問ご意見ございますか。

野村委員：近年、バリアフリーの中にデジタルが入ってきています。日本は遅れている傾向にありますが、今回の計画では、AIなどの視点を取り入れる予定ですか。また、アンケートのWEB回答については、どれくらいの回答を想定していますか。

事務局：おっしゃる通り、近年、AI技術などが進展し、今までであれば社会参加を諦めなければならなかった障害のある方が、それらの技術を使って社会参加ができ

るようになっていきます。例えば、手足が動かなくても、意思伝達装置などを使い、視線で文字を入力してコミュニケーションを図ることができます。声が発せられなくてもこのような装置を使えば、今まで社会参加ができなかった方たちでも社会参加ができるようになります。技術を使い、社会参加の推進を図ることが国の指針としてもあります。国にあわせて市も、積極的に技術を導入できるような環境を整えていくための方針が必要であると考えています。

事務局：WEBでの回答目標は持っていませんが、WEB回答を含めてなるべく多くの方から回答いただけることを目標にしており、全体で50%程度の回答は得たいと考えています。

川口委員長：ありがとうございました。稲森委員からは他に何かありますか。

稲森委員：私自身が計画策定に初めて参加するので、今後勉強していきたいと考えています。委託業者に聞きたいのですが、いくつかの自治体から受注しているのですか。

委託業者：はい。愛知県内でもいくつか受託しています。

稲森委員：複数の自治体の計画をみると、同じ表紙のものがいくつかあります。そのようなことは残念なので、表紙などは変えていただきたいと思います。

川口委員長：ありがとうございました。他に意見がなければ、この議題について承認いただけるものとして良いですか。

<一同、賛同>

(2)豊川市障害者福祉基本計画等に係る各種調査について

<事務局から当日資料①～⑦に基づき説明>

川口委員長：それでは、質疑応答に入ります。ただいまの事務局の説明について、ご意見、ご質問はありますか。

鈴木委員：私自身このような会議に初めて参加しましたが、色々と勉強となり、アンケートも答えやすいように工夫されていると感じました。アンケート調査の目標回収率が50%ということですが、選ばれた人数は全対象者のどれくらいですか。

事務局：手帳所持者は18歳以上が全体で約9,000名います。その中から無作為抽

出で3,000名にお願いする予定です。それ以外は全数で皆様にお聞きすることになっています。例えば障害児通所支援サービス利用者及び18歳未満手帳所持者が1,300人で全数となっており、事業所も120法人程度が全数です。ヒアリング調査についても、当事者団体7団体、ボランティア団体20団体が全数です。相談支援専門員も50名程度が全数です。

川口委員長：ありがとうございました。その他、ご質問、ご意見のある方はいますか。

野村委員：当日資料②の問15、情報を入手する時に困ったことがあるかについて、スマートフォンを使っても、相手の理解がないために拒絶されることがあります。私自身もガイドをやっていて、ガイド自身が障害をお持ちの方に対しての理解が少ないと感じる時もあります。拒絶されるということも、選択肢にも入れてほしいです。また、当日資料④事業所アンケートの問6に「報酬単価が低い」とありますが、市として単価を上げることができますか。また、問10で、AIやICTのことを質問していますが、学習機会の提供が必要だと思います。AIに接する環境があるとないとでは違うため、市として助成や支援する心づもりがあるのかお伺したいです。

事務局：当日資料②の問15の外出時の情報入手ですが、令和2年度に実施した調査との差異も見たいため設定していますが、回答項目にないご意見等ありましたら、選択肢「8.その他」で具体的な事情を記入してください。また、当日資料④問6の報酬単価の問題ですが、報酬単価は国で決まっているため、市として対応するのは難しいです。ただし、ニーズは把握したいため、設問に入れています。問10のAIやICTについては、事業所でどの程度導入しているかを把握したいと考えています。また、どれくらい進捗しているのか把握し、要望が多ければ市としての補助についても検討したいと考えています。

事務局：補足ですが、当日資料②の問15、当事者が残念な思いになることについて、大項目7番の「障害理解について」という部分に障害者差別解消法に基づいた設問がありますので、このあたりでも具体的な内容を記入していただければと思います。当日資料④事業所アンケート問6の報酬単価ですが、国で3年に1度の報酬単価の見直しがあり、市もそれに準じています。なお、今年度は国から通知があり、臨時的に6月から報酬単価を引き上げることが示されています。通常は3年ごとの見直しですが、人材確保を目的として今年に限っての臨時的な見直しを行うとのことです。市単独で報酬単価を見直すことは難しいですが、今回のアンケート調査でニーズの把握をしていければと考えています。

川口委員長：ありがとうございました。ほかにご質問ございますか。

稲森委員：当日資料の①について、通常ヒアリング調査は直接会って実施するものだと思いますが、今回はシートを送付し、提出してもらうことをヒアリング調査としているのですか。

事務局：送付するヒアリング調査票については、自由記載の多いものとなっています。記入していただいた調査票を分析し、ヒアリング先の検討を行い、対面でのヒアリング先を決定する予定です。

川口委員長：ありがとうございました。ほかにご質問、ご意見ございますか。

細井委員：当日資料②4ページの問9について、知的障害のある方が回答する場合、中度・重度の方は家族が回答すると想定されるため、この設問については、家族の希望が反映されるのではないかと思います。本人の希望をアンケートに反映することは難しい面もあると思いますが、アンケート結果が本人の希望ではなく、家族の希望が多数反映されてしまうのではないかと懸念しています。

事務局：今回の調査では、当日資料②の問1で「お答えいただくのはどなたですか」という設問を設け、本人かそれ以外の方の回答なのかを判別しています。この回答を基に、クロス集計をすることで、細井委員の懸念点については分析可能と考えています。

川口委員長：ありがとうございました。ほかにご意見等ございますか。

都築委員：当日資料①において、ヒアリング調査が7月1日～29日となっています。団体の一人一人に送付するのですか。

事務局：当事者団体7団体の代表者にお送りします。団体で話し合ってから書くのか、代表の方が書くのかは各団体にお任せしたいと思います。

川口委員長：ありがとうございました。ほかにご意見等ございますか。

古川委員：私自身が後見を担当しているのですが、前回事業者の補助をし、1時間ほどかけてアンケートの回答をしました。本人の意思決定支援が重視されているため、アンケート調査は時間をかけて行い、回答が終わると安心してしまいます。同じように実施主体側も、アンケート調査を行ったことで安心してしまっているのではなく、結果の分析に尽力してほしいと思っています。また、特に期待しているのは、相談支援専門員へのヒアリング調査ですので、ぜひ尽力をお願いします。

事務局：相談支援専門員については、調査票の送付だけでなく、対面ヒアリングも実施し、調査に尽力する予定です。

川口委員長：ありがとうございました。ほかに意見がなければ、この議題について承認いただけるものとして良いですか。

<一同、賛同>

(3)計画の策定スケジュールについて

<事務局から資料⑤に基づき説明>

川口委員長：ただいまの事務局の説明について、ご意見、ご質問はございますか。

古川委員：パブリックコメントの位置づけはどのような扱いになりますか。前回、記名してパブリックコメントを書いたのですが、音沙汰がありませんでした。

事務局：前は失礼があり申し訳ありませんでした。12月から1月に予定しているパブリックコメントですが、いただいた意見に対して、事務局として回答を作成し、市のホームページにて公開する予定です。ただ、回答された方に個別で回答はしていないため、市のホームページで確認していただくことになります。広報でもお知らせしますが、回答についても公開日を掲載できればと考えています。

川口委員長：ほかに意見がなければ、この議題について承認いただけるものとして良いですか。

<一同、賛同>

6 連絡事項

閉会